

協力企業・協力団体(順不同)

エコツーリズムプロジェクトチーム員

私たちは、かけがえのない奥入瀬渓流の自然環境を保全するため、訪れる皆さんに自然の大切さを理解してもらい、永続的な保全と、自然環境を活かした地域振興を図る「奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト」を実施しています。

協賛企業

NTT 東日本／上北農産加工農業協同組合

田中建設(株)／丸井重機建設(株)／(財)十和田湖ふるさと活性化公社

東北電力(株)十和田営業所／(株)青工／紺野建設(株)／みちのくコカ・コーラボトリング(株)

鳴子温泉売店／東北インテリジェント通信(株)／田中建設工業(株)／(株)中達組

十和田おいらせ農業協同組合／(株)吉田産業

(社)十和田青年会議所／十和田食堂

程川電気工事(株)／(株)十和田ビルサービス

十和田タクシー(株)／十和田シティホテル／(有)ふじの

「併催イベント」提供・協力

十和田湖観光汽船(株)：シャトルバスチケット特典提供

十和田観光電鉄(株)十和田湖双胴船：シャトルバスチケット特典提供

「併催エコツアー」協力

青森県ウォーキング協会／NPO あおもり観光誘客推進協会

NPO 法人十和田奥入瀬郷づくり大学／青森県立十和田西高等学校

「奥入瀬エコロードフェスタ」スタッフ協力

青森県警察／青森県／十和田市／十和田市交通指導隊／(社)十和田市観光協会

お問い合わせ

奥入瀬渓流利用適正化協議会事務局

奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト実行委員会事務局

《代表》青森県土整備部道路課整備推進グループ

TEL.017-734-9651



豊かな自然を快適に味わう為に

奥入瀬渓流は車で気軽に立ち寄ることができる国立公園である反面、観光シーズンは観光車両が殺到し、渋滞を引き起こしています。また、路上駐車やアイドリングをしたままの車両も多く見受けられ、奥入瀬渓流の自然環境はもちろん、散策（ウォーキング）をしている利用者の方々にも決して良い環境とは言えません。

奥入瀬渓流利用適正化協議会では「自然環境保全と渋滞解消」を目的とし、マイカー交通規制の試行に取り組んでいます。しかし、渓流沿いの国道102号は地域の生活道路であり、産業道路としての物流機能も担っており、また、迂回路では大型車のすれ違いが困難となっています。

このため、規制車種や期間の拡大のためには、さまざまな課題が残っておりますが、今後毎年の試行を継続し、皆様のご理解をいただきながら定着を図って参ります。



目次

- P 3 平成24年度マイカー交通規制試行結果
- P 5 交通規制中の奥入瀬渓流
- P 6 来訪者アンケート結果(H22～H24)
- P 7 奥入瀬渓流エコロードフェスタ エコツアー催行結果
- P 11 その他のイベント 催行結果
- P 13 奥入瀬渓流エコツーリズムフォーラム2012
- P 14 奥入瀬渓流エコロードフェスタの記録

はじめに

奥入瀬渓流は、十和田八幡平国立公園の中で最も保全基準の厳しい特別保護地区に指定されており、自然環境を良好に保全すべき地区です。

奥入瀬渓流利用適正化協議会では、自然環境保全と渋滞解消を目的に平成15年からマイカー交通規制を試行しており、今年で7回目の実施となりました。

マイカー交通規制は、自然環境保全や渋滞解消につながるだけでなく、本来の自然美や渓流美をそのままに活かす環境を創出する取り組みです。

奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト実行委員会では、「奥入瀬渓流エコロードフェスタ」として、マイカー交通規制の環境の中で、奥入瀬渓流三里半ウォークや高校生ボランティアガイドウォーク、巨木探検ツアー等のエコツアーを催行しました。

東日本大震災後、観光客が激減する中、これまで以上に十和田湖・奥入瀬渓流を身近に感じていただくとともに、県内外からの観光客の誘致に繋がるきっかけとなるよう努めたいと思います。

これからも、自然を尊重し、自然に感謝し、永続的に保全する努力を行い、奥入瀬渓流の自然の奥深さや幅広い魅力をより多くの方々に知っていただけるよう、官民一体となって取り組んで参ります。

これらの取り組みは、県内外の企業の皆様からの御協賛と地元関係団体をはじめ多くの皆様から支えられています。

ここに今年度の事業が無事に終了できましたことを事務局、スタッフ一同より深く感謝申し上げますとともに、今後ともよろしく一層のご理解、ご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

奥入瀬渓流利用適正化協議会
奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト実行委員会

平成24年度マイカー交通規制試行結果①

残暑が長かったせいか、紅葉が遅く、ほぼ紅葉のピークの中での開催となりました。初日土曜日は天候も良く、多くのお客様に参加いただきましたが、二日目日曜日は雨交じりとなり客脚が思うように伸びませんでした。2日間では、ほぼ例年並みの参加者となり、奥入瀬渓流マイカー交通規制も滞りなく行うことができました。来年度以降も継続して実施を予定しておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

マイカー交通規制案内図



平成24年度マイカー交通規制試行結果②

規制の概要

試行日時	H24.10.27(土)	H24.10.28(日)	規制車両外 バス、大型、中型、タクシー、 自動二輪等
気象状況	晴れ	曇りのち雨	焼山 ⇄ 休屋 シャトルバス 20分又は15分間隔 往復フリーバス800円
規制時間	9:00～16:00		
規制車両	マイカー車両(レンタカー含む)		
駐車場	無料:焼山(計1箇所:270台) 有料:休屋(計2箇所:660台)		

試行結果の概要

シャトルバス利用者数	
10/27(土)	1,698人
10/28(日)	973人
合計	2,671人

駐車場利用台数	
10/27(土)	約 1,650 台
10/28(日)	約 910 台
合計	約 2,560 台

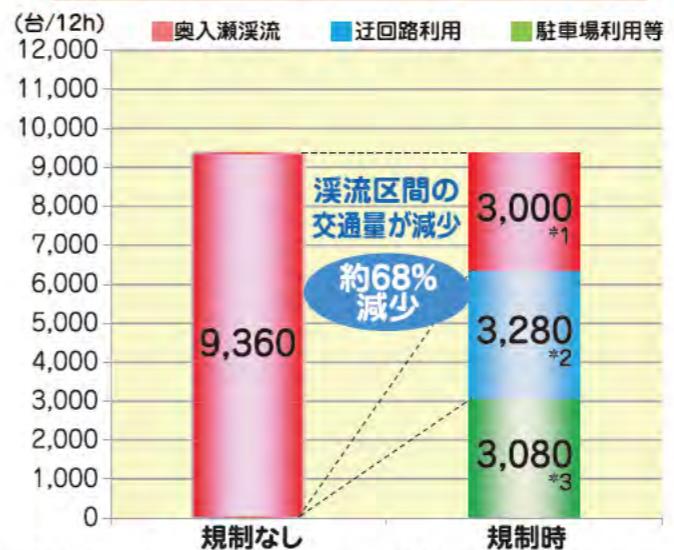
温室効果ガス・大気汚染物質が大幅に減少

マイカーを規制した結果、渓流区間の交通量が減少したことにより、温室効果ガス(CO₂)、大気汚染物質(Nox)が大幅に減少しました。



※1. 算定方法は「客観的評価指標の定量的評価指標の算定方法(案)」に基づく

渓流区間の交通量は約 68%（約 64 百台）減少



*「規制なし」とは、当日の規制を実施しなかった場合に想定される交通量推計値 *「規制時」とは、H24.10.27（土）・H24.10.28（日）の調査結果に基づく交通量
 *1) 懸渋交差点交通量調査結果（深渓区間） *2) 青樺山交差点交通量調査結果（迂回路利用）
 *3) H24 駐車場利用台数 × 0.6（H15 駐車場利用者アンケート調査結果より）× 往復

滞渋が解消

渓流区間の交通量の大幅な減少により渋滞が解消しました。マイカー交通規制により快適な渓流環境となっています。

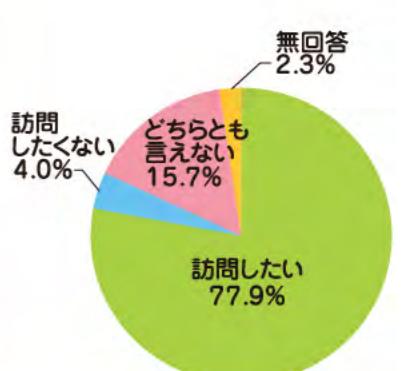
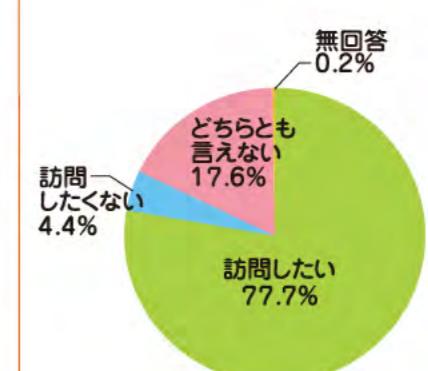
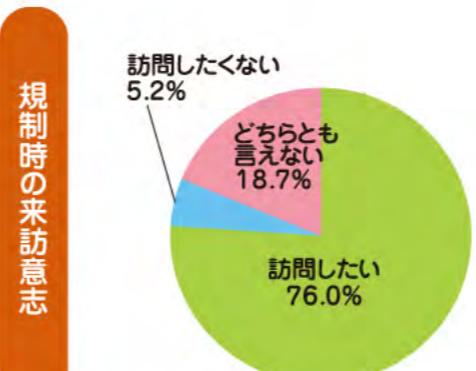
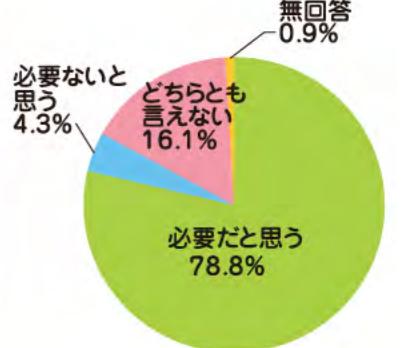
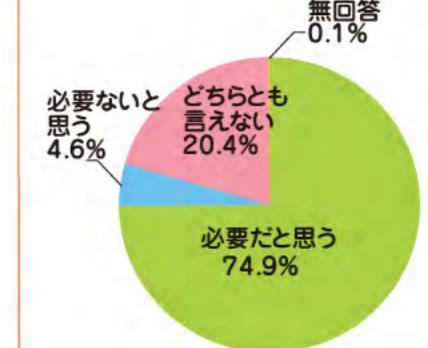
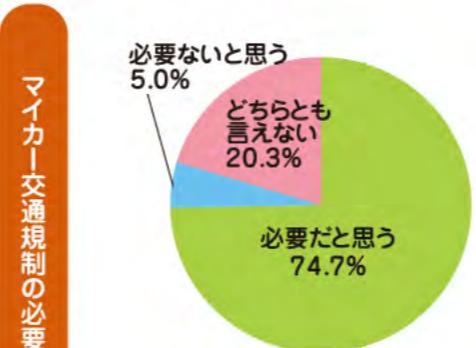
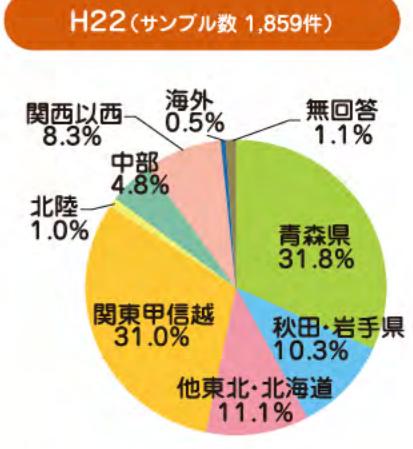
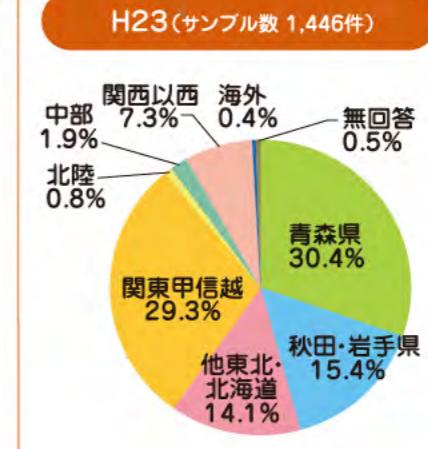
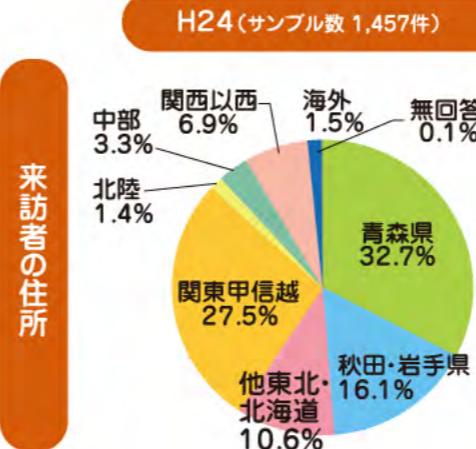


*「規制なし」とは、H24.10.21(日)の調査結果

交通規制中の奥入瀬渓流



来訪者アンケート結果 (H22~H24)



フリーアンサー

FREE A 規制の効果で車がなく、空気がきれい。
また、渓流の音、野鳥の声がよく聞こえ満足している。(60歳以上 / 女性)

FREE A 渓流沿いの道路が歩行者天国のようになり、
事故の心配なく歩け、より楽しむことが出来ました。(30歳未満 / 女性)

FREE A 車の通りが少ない為、
自転車で奥入瀬渓流を楽しめた。(50歳代 / 男性)

FREE A シャトルバスを初めて利用したけど、とても便利だと思う。
また来年も来たいです。(50歳代 / 男性)

奥入瀬渓流エコロードフェスタ エコツアー催行結果①

マイカー交通規制によって、普段とは違う静寂な奥入瀬渓流が生まれます。この機会に、多くの皆様にその魅力を体感していただくため、奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト実行委員会では、様々なウォークイベント、自然ガイドツアー等のエコツアーを催行しました。

エコロードフェスタ期間だけでなく、通年でのエコツーリズム観光推進に向けて、今後も幅広いメニューを検討し、皆様に提供していきたいと考えています。


"青森の秋"を感じませんか?
 コース 30km



青森県内の「美しい日本の歩きたくなるみち500選」認定コース。
奥入瀬渓流をはじめとする“青森の秋”を感じませんか?

10/26 八戸前泊【燕島 八戸シーガルビューホテル】
500選青森⑨のスタート地点にあるホテル

美しい日本の歩きたくなるみち500選

10/27 青森⑨ 種差海岸・渚と風のみち 徒歩/2時間 8.0km
種差海岸 9:40 ▶ バス移動 ▶ 下北半島・尻屋崎ビジターハウス

青森④ 秘境・下北半島尻屋崎のみち 徒歩/1時間45分 7.0km
尻屋崎 15:00 ▶ バス移動 ▶ 18:00 十和田湖畔 休屋泊

10/28 休屋 8:15 ▶ 湖上遊覧 ▶ 9:05 子ノ口
9:10~12:00 青森⑪ 十和田湖奥入瀬渓流のみち 徒歩/3時間 8.5km
石ケ戸 12:15 ▶ バス移動 ▶ 14:00 南部町

青森⑧ ふく里山バーデパークのみち 徒歩/2時間 6.5km
南部町 16:20 ▶ バス移動 ▶ 16:40 八戸駅

標準コース



奥入瀬渓流エコロードフェスタ エコツアー催行結果②



美しいブナ林の紅葉と渓流のせせらぎを歩く 奥入瀬渓流三里半ウォーク

青森県ウォーキング協会・NPOあおもり観光誘客推進協会

 コース 14km

日本市民
スポーツ連盟
認定大会

美しい日本の
歩きたくなるみち
500選

美しいブナ林の紅葉と渓流のせせらぎを歩く

奥入瀬渓流全区間14km(三里半)、約4~5時間のコースです。

実施日

2012年10月27日(土)、28日(日)

参加費 3,000円

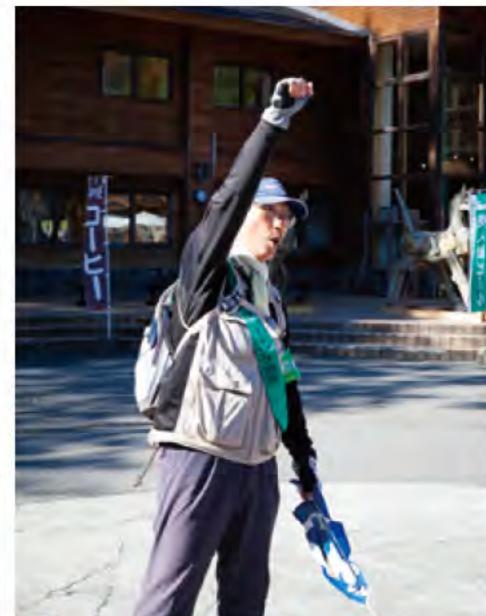
集合場所

奥入瀬渓流館(焼山) 集合 9:40 出発 10:00

コース

奥入瀬渓流館(焼山)  奥入瀬渓流 徒歩/14km ▶ 子ノ口 ▶ 湖上遊覧 ▶ 休屋

シャトルバス代 十和田湖遊覧船 養鶴保護区を含みます。



奥入瀬渓流エコロードフェスタエコツアー催行結果③



奥入瀬渓流見所3km満喫!1時間コース!

コース 3 km

高校生ボランティアガイドウォーク

NPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学

高校生ボランティアガイドウォーク 十和田西高校の生徒さんの協力によるガイドが同行します。

実施日 2012年10月27日(土)、28日(日) 参加費 無料

参加方法 9:00から11:15の間に出発するシャトルバスへ高校生ボランティアガイドが同乗しますので、石ケ戸バス停降車時にボランティアガイドのところへお集まりください。

A コース 9:00～10:40の間に出発

所要時間 2時間30分 休屋 シャトルバス → 石ケ戸 徒歩/3km → 雲井の滝 シャトルバス → 休屋

B コース 9:00～11:15の間に出発

所要時間 1時間50分 烧山 シャトルバス → 石ケ戸 徒歩/3km → 雲井の滝 シャトルバス → 烧山



奥入瀬渓流エコロードフェスタエコツアー催行結果④



日本一のブナ「森の神」が放つ神々しさを体感しよう!

巨木探検ツアー

NPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学

日本市民
スポーツ連盟
認定大会

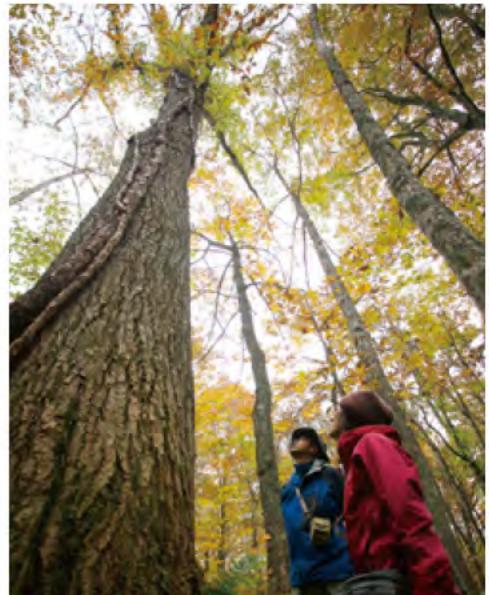
巨木探検ツアー 認定ガイドが同行します。

実施日 2012年10月27日(土)、28日(日) 参加費 無料

集合場所 烧山駐車場の受付テント 各回先着 20名

スタート 9:00/11:00/13:00

コース
所要時間 1時間20分 烧山 ターバス → 徒歩 巨木探検



その他イベント 催行結果①

休屋・休平地区



その他イベント 催行結果②

焼山地区



環境にやさしいバス運行の今後の可能性や課題等を調査することを目的に、電気バス試乗会を実施しました。

運行区間

焼山 ⇄ 子ノ口

8:50～16:50の間に4往復
走行距離 約14km 所要時間 約40分



エコツアーステーション

《設置場所／休屋桟橋前》

エコツアーステーションでは、十和田湖・奥入瀬渓流で行われているエコツアーや「セグウェイ」の試乗体験（休屋のみ）など、多くのお客様にお立ち寄りいただきました。



“eco もび”展示会

《展示場所／休屋桟橋前》

奥入瀬渓流の環境問題、自動車利用の在り方を考えていたくことを目的に、休屋地区内で電気自動車の展示会を実施しました。



情報を発信しているエコツアーリスト

- ネイチャーランプリングツアー ■カヌーツアー ■スノーランプリングツアー
- 自然ボランティアガイド

第6回 奥入瀬渓流エコツーリズムフォーラム2012

昨年に引き続き今年も「奥入瀬渓流エコツーリズムフォーラム2012」が開催されました。第6回となる今年は約100名の来場者を迎え、奥入瀬渓流のこれからの方や、奥入瀬渓流の素晴らしい自然環境を保全し、後世に伝えていくため、特に渓流の交通規制と青樅山バイパスの実現について深く考える機会となりました。

実施日 2012年9月30日(日)
14:00～16:30

場所 十和田市民文化センター
[視聴覚ホール]

主催 NPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学

共催 奥入瀬渓流エコツーリズム
プロジェクト実行委員会



基調講演 アマチュア天文家 佐藤 直人氏
テーマ「奥入瀬渓流と星空へのロマン」

1997年に自ら発見した小惑星に「Oirase (おいらせ)」と命名したことは、奥入瀬渓流が後世に残したい世界的遺産である、否、宇宙的遺産であるとの思いである。

パネルディスカッション

テーマ「世界遺産への道・青樅山バイパス整備を!」

世界的遺産への道を考えると、奥入瀬渓流は車両をほぼ全面的に規制する必要があり、青樅山バイパスの早期実現が重要である。



〈コーディネーター〉
青森県生コンクリート
工業組合 理事長
青森県生コンクリート
協同組合連合会 会長
(元青森県企画制作部制作調整課長)
五十洲 廣明氏



岩手県立大学名誉教授
幸丸 政明氏
試験的に行っているマイ
カー規制を通じて、将来
的な奥入瀬渓流のあり方、
自然の本当の楽しみ方を
伝えることが重要だ。



奥入瀬フーズ取締役
小笠原 守男氏
試験的に行っているマイ
カー規制を通じて、将来
的な奥入瀬渓流のあり方、
自然の本当の楽しみ方を
伝えることが重要だ。



八戸工業大学教授・工学博士
佐々木 幹夫氏
バイパス環境検討委員会
でも、最も適切なトンネル
工法等をもって造ることが
可能なので、早期の実現
を願う。



十和田湖国立公園協会常務理事
森田 玲子氏
交通規制による営業上の
影響を心配する声もある
が、貴重な自然を次世代
に残すため、推進すべき
である。



奥入瀬渓流エコロードフェスタの記録

